2018年9月　1日　No.136　　発行責任者 田中 孝史

第１３６号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

これでは生活改善にならない

経済大国なのに異常に低い最低賃金

厚労省の中央最低賃金審議会は7月25日、今年の目安について、Aランク27円、Bランク26円、Cランク25円、Dランク23円引き上げ、全国平均26円引き上げて874円、東京は985円とする金額を出しました。

またもや拡がった地域関格差

10月からこの金額になりますが、これを都内の郵政にあてはめると、内務1010円、外務1140円になります。しかし、この金額では物価上昇や社会保障費の負担増で生活改善になりません。しかも、全国一律1000円以上からすれば程遠いものです。加えて、AランクとDランクでは最高額985円、最低額761円となり、格差は224円になります。同じ職種で年間1800時間働いて40万円以上の格差です。これでは若者などの地方からの流失と大都市への集中に拍車をかけることになります。

このままいくと韓国よりも

日本の最低賃金は欧米先進諸国と比較して、著しく低い水準です。米・英・仏・独・豪などは全国一律1000円～1400円以上になっています。韓国は2019年1月から850円、2020年には全国一律1000円にすることを文在寅大統領は公約しています。そうなれば地方によっては韓国よりも低くなる所が多くなります。

私達は「8時間働けば普通に暮らせる社会」を実現するために直ちに全国一律1000円、早期に1500円にするよう求めています。それは企業の内部留保400兆円を一部取り崩せば可能です。引き続き頑張っていきましょう。

沖縄に連帯して東京で行動

8月11日、沖縄の辺野古新基地建設反対の集会が7万人で行われました。東京でもそれに連帯する行動が池袋駅近くの公園で2800人の参加で行われました。集会後のデモでは池袋駅を一周し、「基地建設よりも沖縄の自然を守れ」、「平和外交で戦争のない日本を」と訴えました。